

排出係数一覧表(4)

大気・水域への 排出係数 (長期使用製品の使用段階)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	長期使用製品の使用段階	
				排出係数	使用期間(年)
中間物				大気	水域
01	中間物	a	合成原料、重合原料、前駆重合体		
		b	重合開始剤		
		z	その他		
溶 剂					
02	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・印刷インキ用・複写用・殺生物剤用溶剤	a	塗料用溶剤、塗料希釈剤		
		b	塗料剥離剤		
		c	ワニス用溶剤		
		d	インク用溶剤、レンズ用溶剤		
		e	印刷インキ用溶剤、電子テハイス用溶剤、インキ溶剤、インキ洗浄剤		
		f	殺生物剤用溶剤		
		z	その他		
03	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	a	接着剤用溶剤、粘着剤用溶剤		
		b	接着剤離用溶剤、糊剤離用溶剤		
		c	接着用溶剤		
		d	シーリング材用溶剤		
		z	その他		
04	金属洗净用溶剤	a	金属洗净用溶剤(塩素系)		
		z	その他		
05	クリーニング洗净用溶剤 〔洗濯業での用途〕	a	ドライクリーニング溶剤		
		b	柔軟剤、ドライクリーニング溶剤抽出剤		
		z	その他		
06	その他の洗净用溶剤 [#04.05を除く]	a	フォトレジスト現像用溶剤、レジスト剥離用溶剤		
		z	その他		
07	工業用溶剤	a	合成反応用溶剤		
		b	純系用溶剤、製膜用溶剤		
		c	抽出溶剤、精製溶剤		
		d	希釈溶剤		
		z	その他		
08	エアゾール用溶剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤		
		z	その他		
09	その他の溶剤	z	その他の溶剤		
溶 剂 以 外					
10	化学プロセス調節剤	a	触媒、触媒担体		
		b	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔壁、濾過補助剤(脱離助剤等)		
		c	乳化剤、分散剤		
		d	重合調節(停止)剤、重合禁止剤、交差剤		
		e	光学分割剤		
		z	その他		
11	着色剤(染料、顔料、色素、色材) [#12,13,15,16,25,26,29を除く]	a	着色剤(染料、顔料、色素、色材)	0	0.0001
		b	蛍光増白剤	*	*
		c	発色剤、発色助剤	10	10
		z	その他	§	§
12	水系洗净剂1 〔工業用途〕	a	石鹼、洗剤(界面活性剤)		
		b	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤		
		c	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(消泡剤等)		
		d	防錆剤		
		z	その他		
13	水系洗净剂2 〔家庭用・業務用の用途〕	a	石鹼、洗剤、ウインドウォッシャー液(界面活性剤)		
		b	柔軟剤(界面活性剤)		
		c	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤		
		d	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(酵素、螢光増白剤、紫外線吸収剤等)		
		z	その他		
14	ワックス(床用、自動車用、皮革用等)	a	ワックス		
		b	乳化剤、分散剤		
		z	その他		
15	塗料、コーティング剤	a	塗料用樹脂、コーティング剤用樹脂	*	*
		b	着色剤(染料、顔料、光輝剤)	*	*
		c	熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー・ハイブリード成分	10	10
		d	柔軟剤、硬化剤、増感剤、重合開始剤、光酸発生剤、光環基素生成剤		
		e	可塑剤、充填剤	*	5
		f	安定化剤(酸化防止剤等)	*	10
		g	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤、導電性改良剤	*	10
		h	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、表面調整剤、造膜助剤	*	10
		i	防腐防止剤、防錆剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤	*	10
		j	乾燥促進剤、湿润剤、難燃剤、撥水剤	*	10
		z	その他	§	§
16	印刷インキ、複写用薬剤(トナー等)	a	インキ用樹脂、トナー用樹脂		
		b	着色剤(染料、顔料、色素)、感熱色素、感圧色素、螢光増白剤、顔色剤		
		c	紫外線・電子線硬化インキのモノマー・オリゴマー・増感剤、重合開始剤		
		d	可塑剤、充填剤		
		e	安定化剤(酸化防止剤等)	*	5
		f	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤	*	10
		g	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、造膜助剤	*	10
		h	電荷制御剤、流動性付与剤、研磨性付与剤、滑り性付与剤	*	10
		i	乾燥促進剤、湿润剤	*	10
		z	その他	§	§
17	船底塗料用防汚剤、漁網用防汚剤	a	防汚剤用樹脂(添加剤も含む)	0	0.9
		b	船底塗料用防汚剤	0	0.9
		c	漁網用防汚剤	0	0.9
		z	その他	0	0.9
18	殺生物剤1 〔成形品に含まれ出荷されるもの〕	a	殺菌剤、殺虫剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤(細菌増殖抑制剤、木材の防腐剤、防蟲剤)	0	0.0014
		b	展着剤、乳化剤		
		z	その他	§	§
19	殺生物剤2 〔工場内使用で成形品に含まれないもの〕 〔工業用途〕	a	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤)		
		b	カス滅菌剤、薰蒸剤、処理剤		
		c	殺菌剤、消毒剤、防腐剤、抗菌剤		
		d	展着剤、乳化剤		
		z	その他		

* : 当該ライフサイクルステージからの排出が想定されるものの、現段階では数値を設定しない。ただし、リスク評価において長期使用製品の使用に係る評価を行う段階で検討を行う。

§ : y,zの具体的用途の記載内容に応じて、当該ライフサイクルステージからの排出が想定される用途かどうかを検討する。想定される場合は上記 * 同様の扱いとする。

排出係数一覧表(4) 大気・水域への 排出係数 (長期使用製品の使用段階)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類	長期使用製品の使用段階		
				排出係数		使用期間(年)
				大気	水域	
20	殺生物剤3 《家庭用・業務用の用途》	a b c d e f z	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤) 繊維用・紙用防虫剤 シロアリ駆除剤、防蟻剤 殺菌剤、消臭剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤、除菌剤 非農耕地用除草剤 接着剤、乳化剤 その他			
21	火薬類 [煙火を含む]	a b z	火薬、爆薬、火工品[#21-bを除く]、煙火 自動車安全部品用ガス発生剤 その他			
22	芳香剤、消臭剤	a b c d z	香料(洗浄剤用)[#22-b,cを除く] 芳香剤 消臭剤 乳化剤、分散剤 その他			
23	接着剤、粘着剤、シーリング材	a b c d e f g h z	接着剤用樹脂、粘着剤用樹脂、シーリング材用樹脂 バインダー成分(モノマー、プレポリマー、硬化剤、硬化促進剤、開始剤、カッティング剤) 可塑剤、充填剤 安定化剤(老化防止剤等) 皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、プロッキング防止剤、平滑剤 表面調整剤、分散剤 防腐剤、防かび剤、抗菌剤 難燃剤、導電剤 その他	*	*	20
24	フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	a b c d e f g h z	感光性・感電子性樹脂(フォトレジスト、印刷版等) 感光性・電子性樹脂のモマーオリゴマー 感光剤(電子写真感光体、光重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤) 色素形成カラーラー(カラー写真用) 乳化剤、分散剤 定着剤、安定化剤 硬化剤、増感剤、減感剤、架橋密度向上剤、重合開始剤、レジスト添加剤 現像剤、水溶性処理薬品、バンシート剝離剤 その他	*	*	10
25	合成繊維、繊維処理剤 [不織布処理を含む]	a b c d e f g h i j k l m n o p q r z	成形品基本材(合成繊維、不織布) 着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤 集系剤 防炎剤、難燃剤 含浸補強剤、染料固定剤(フィックス剤) 帶電防止剤、親水加工剤 柔軟剤、上油剤 形態安定加工剤 撥水剤、撥油剤、防水加工剤、防汚加工剤 抗菌剤、変色防止剤、紫外線吸収剤 新系・紡系・繊維油剤、紡糸・紡績・繊維油助剤 洗浄剤、精練洗浄剤(ソーピング剤)、潤滑剤 キレート剤 漂白剤、抜染剤 均染剤、浸透剤、促染剤(染色助剤)、媒染剤、捺染用糊剤 乳化剤、分散剤、消泡剤 マーセル化助剤 糊抜き剤 その他	0	0.6	10
26	紙・パルプ薬品	a b c d e f g h i j k z	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤 サイズ剤、定着剤、填料 コーンクリーパー剤 防炎剤、難燃剤、荷重防止剤 紙力増強剤、歩留向上剤、定着剤(フィックス剤)、防錆剤 撥水剤、撥油剤、防水加工剤 高周波、柔軟剤 蒸留水液、pH調節剤 スライムコントロール剤(防腐剤)、ビッチコントロール剤 漂白剤、漂白浴安定剤 乳化剤、分散剤、消泡剤、脱墨剤、洗浄剤 その他	0	0.6	10
27	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	a b c d e f g h i j k l m n y z	成形品基本材(プラスチック、合成皮革、合成紙、発泡体) 高吸水性材料 可塑剤、分散剤 安定化剤(老化防止剤等) 充填剤、希釈剤、ポリマー分解促進剤 結晶核剤 内部消泡剤、内部離型剤 防塵剤、流滴剤 難燃剤、帯電防止剤、波長变换剤 外部滑剤、外部離型剤 充泡剤、ラジカル発生剤 注塑用・注塑発泡用材料(モノマー、プレポリマー等) 硬化剤、架橋剤(FRP用モノマー等)、架橋助剤、増感剤、重合開始剤 硬化促進剤 その他の添加剤(改質剤等) その他	0.0005 0.0005 0 0 0 0 *0.0005 0.0001 0.0001 0 0 0 *0.0001 0.0001 0 0 0 0	0.016 0.016 0.0001 0.016 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
	[#15,16,23,25,28を除く] [着色剤は#11]					
28	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	a b c d e f g h i j k l m n y z	成形品基本材(エラストマー(合成ゴム)) 加硫促進剤、加硫促進剤助剤(加硫活性剤) 加硫剤、架橋剤、架橋助剤 可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤 安定化剤(老化防止剤等) スチール防止剤、系縫促進剤、内部消泡剤、内部離型剤 ラテックス凝固剤、乳化剤、分散剤、沈降防止剤 難燃剤、帯電防止剤 外部滑剤、外部離型剤 着色剤 ゴム再生剤(脱硫剤等) その他の添加剤(改質剤等) その他	0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01 0.01	0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11 0.11	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
	[着色剤は#11]					

*: 当該ライフサイクルステージからの排出が想定されるものの、現段階では数値を設定しない。ただし、リスク評価において長期使用製品の使用に係る評価を行う段階で検討を行う。

§: y,zの具体的用途の記載内容に応じて、当該ライフサイクルステージからの排出が想定される用途かどうかを検討する。想定される場合は上記*同様の扱いとする。

排出係数一覧表(4)

大気・水域への 排出係数 (長期使用製品の使用段階)

用途番号 (#)	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類			長期使用製品の使用段階		
			排出係数		使用期間(年)			
			大気	水域				
29	皮革処理剤	a なめし剤 b 仕上げ加工薬剤(漂白剤、着色剤、着色助剤、撥水剤、撥油剤、油剤、脱脂剤、加脂剤等) c 塗膜工程(なめし剤)剤(脱脂剤、脱脂剤等) z その他	*	*	10			
30	ガラス、ほうろう、セメント	a ガラス原料 b ガラス添加剤(流動化剤、集束剤、防霧剤、紫外線カット剤等) c ガラス加工助剤(離型剤、pH調節剤等) d ほうろう原料 e ほうろう添加剤(絞付け用乾燥剤、フリット配合薬剤等) f ほうろう加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等) g セメント原料 h セメント添加剤(混合材、膨張剤、固化剤等) z その他	*	*	30			
	[着色剤は#11]		*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			S	S	S			
31	陶磁器、耐火物、ファインセラミックス	a 陶磁器原料、耐火物原料、ファインセラミックス原料 b 陶磁器添加剤、耐火物添加剤、ファインセラミックス添加剤(焼結助剤等) c 成形助剤(バインダー、増粘剤、可塑剤、潤滑剤、分散剤等) d 滑剤、離型剤 z その他	*	*	30			
	[着色剤は#11、電子用ファインセラミックスは#38]		*	*	30			
32	研削砥石、研磨剤、摩擦材	a 研削砥石原料、研磨剤原料、摩擦材原料、固体潤滑剤原料 b 研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤添加剤(バインダー、増粘剤、研磨助剤、分散剤、摩擦調整剤、潤滑剤等) c 滑剤、離型剤 z その他	*	*	5			
	[着色剤は#11]		*	*	5			
33	金属製造加工用資材	a 金属用添加剤(接種剤等) b 加工助剤(フックス等) c 錆造用粘結剤、錆造用鍛化剤、錆造用添加剤 d 錆造用離型剤、錆造用塗型剤 z その他						
	[金属及び合金の原料は#1、着色剤は#11、表面処理は#34、溶接・ろう接は#35、金属加工油(は#37)]							
	[着色剤は#11]							
34	表面処理剤	a めっき薬剤(皮膜成分原料) b めっき浴添加剤(光沢付与剤、煙霧防止剤、無電解めっきの還元剤等) c 化成処理薬剤 d 真空めっき(蒸着等)薬剤、溶射処理薬剤 e 表面鏡化処理(浸炭、窒化等)薬剤 f 表面フッ素化処理薬剤、表面シリル化処理薬剤 g エッチング処理薬剤、スパッタリング処理薬剤、プラスト処理薬剤 z その他						
	[めっき前処理剤・後処理剤の脱脂・洗净薬剤は#04金属洗净剤、#12の水系洗净剤1] [#4-6.12-15.17.25-27.30-32.38.44を除く]							
35	溶接材料、ろう接材料、溶断用材料	a 溶接フラックス b ろう接フラックス(酸化防止剤等) c 溶接用ガス、溶断用ガス z その他						
36	作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	a 作動油の基油、潤滑油の基油 b 絶縁油の基油 c プロセス油の基油 d クーラント油 e 作動油添加剤、潤滑油添加剤 f 絶縁油添加剤 g プロセス油添加剤 z その他	0.01	0.11	5			
	[#37を除く]		0.01	0.11	5			
37	金属加工油(切削油、圧延油、プレス油、熱処理油等)、防錆油	a 水溶性金属加工油の基油 b 不水溶性金属加工油の基油、防錆油の基油 c 水溶性金属加工油添加剤 d 不水溶性金属加工油添加剤、防錆油添加剤 z その他						
	[#37を除く]							
38	電気・電子材料 [対象材料等の製造用プロセス材料を含む]	a 磁性材料[#38-1を除く]、導電材料、超電導材料、螢光体材料 b 有機半導体材料、液晶材料 c 誘電体材料、抵抗体材料、固体内電解質材料、電解液材料、セハレータ材料 d 光導波路材料(光ファイバを含む)、光学フィルム材料、電子機器用光材料 e 封止材、絶縁材料、シールド材料 f 電子記憶媒体材料(磁性材料、光吸収色素等) z その他	*	*	20			
	[絶縁油は#36]		*	*	10			
			*	*	20			
			*	*	10			
39	電池材料(一次電池、二次電池)	a 電解質材料、電解液材料、絶縁材料、セハレータ材料 b 電極材料(活性物質、集電体、導電剤、バインダー等)、減極剤 z その他						
40	水処理剤	a 腐食防止剤、防錆剤、防食剤、防スケール剤、防腐剤 b 金属イオン捕捉剤、金属イオン封鎖剤、硬水軟化剤 c イオン交換体(有機及び無機イオン交換体)、分散剤 d 調滑剤、還元剤、pH調節剤 e 消泡剤、凝集剤、濾過助剤、脱水助剤、イオン交換樹脂再生剤 z その他						
41	乾燥剤、吸着剤	a 乾燥剤、脱水剤 b 吸着剤(脱臭剤、脱頃剤、ガス吸着剤等) c 吸収剤(脱酸素剤等) z その他						
42	熱媒体	a 冷媒、冷却剤 b 热媒、加热剤 z その他						
43	不凍液	a 不凍液(LLC等) b 防錆剤、防食剤 z その他						
44	建設資材添加物(コンクリート混和剤、木材補強含浸剤等)	a 表面硬化剤 b コンクリート混和剤(強化剤、潤滑剤) c 離型剤、消泡剤 d 木材補強含浸剤、木質板添加剤 e 防汚剤[#17-bを除く]、防水剤、撥水剤 z その他	*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			*	*	30			
			S	S	S			
45	散布剤、埋立廻分前処理薬剤(融雪剤、土壤改良剤、消火剤等)	a 凍結防止剤(融雪剤等) b 土壤改良剤、地盤改良剤 c 消火剤 d 人工降雨剤 e 油処理剤 f 粉塵結合剤、粉塵防止剤、煤塵処理剤 z その他						

*: 当該ライフサイクルステージからの排出が想定されるものの、現段階では数値を設定しない。ただし、リスク評価において長期使用製品の使用に係る評価を行う段階で検討を行う。

S : y,zの具体的用途の記載内容に応じて、当該ライフサイクルステージからの排出が想定される用途かどうかを検討する。想定される場合は上記 * 同様の扱いとする。

排出係数一覧表(4)

大気・水域への 排出係数 (長期使用製品の使用段階)

用途番号 (#)	用 途 分 類	詳細用途番号	詳 細 用 途 分 類	長期使用製品の使用段階	
				排出係数	
				大 気	水 域
46	分離・精製プロセス剤 《鉱業、金属製造業での用途》 [抽出・精製溶剤(#07)]	a	浮選剤(捕收剤、起ぼう剤、条件剤)、金属浸出剤		
		b	凝集剤、分散剤、金属捕捉剤		
		z	その他		
47	燃料、燃料添加剤	a	燃料		
		b	燃料添加剤(清浄分散剤、酸化防止剤、粘度指数調整剤、摩擦低減剤、防錆剤等)		
		c	燃焼改良剤(燃焼促進剤、セタン価向上剤、アンチノック剤等)		
		d	水蒸防止剤、着臭剤		
		z	その他		
上記以外					
98	その他の原料、その他の添加剤	z	その他の原料、その他の添加剤		
99	輸出用	a	輸出用		

* : 当該ライフサイクルステージからの排出が想定されるものの、現段階では数値を設定しない。ただし、リスク評価において長期使用製品の使用に係る評価を行う段階で検討を行う。
§ : y,zの具体的用途の記載内容に応じて、当該ライフサイクルステージからの排出が想定される用途かどうかを検討する。想定される場合は上記 * 同様の扱いとする。